

4月7日：大型株への売りが強まり、VN指数は反落

引け成行注文（ATC）の取引時間に大型株への売りが強まり、VN指数は反落した。

ホーチミン市場のVN指数は1.35%安の1,502.35ポイントで取引を終えた。同指数は前日0.19%高の1,522.90ポイントで引けていた。

騰落別では372銘柄が下落、89銘柄が上昇した。

出来高は前日と比べて減少した。売買高は7億9,500万株、売買代金は27兆ドンを超えた。

大型株が下げたことで、株価指数はさえない値動きとなった。VN30指数は0.97%安の1,541.96ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、6銘柄が上昇、24銘柄が下落した。

主な値下がり銘柄には、ビンホームズ（VHM）、ホアファットグループ（HPG）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、バオベトホールディングス（BVH）、リー冷蔵電気工業（REE）、ペトロベトナムガス（GAS）、マサングループ（MSN）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、ファットダット不動産開発（PDR）、フーニユアン・ジュエリー（PNJ）、サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）、SSI証券（SSI）が含まれた。

銀行株も下げ、マーケット全体の重しとなった。主な値下がり銘柄に、サコムバンク（STB）、サイゴンハノイ銀行（SHB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ヴィエティンバンク（CTG）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、TPバンク（TPB）、リエンベトポストバンク（LPB）が含まれた。

またビンググループ関連銘柄も軟調だった。ビンググループ（VIC）は1.2%安、ビンホームズ（VHM）は1.7%安だった。

ベトナム証券預託機関のデータによれば、国内投資家による3月の新規口座開設件数は270,217件だった。2021年12月に記録した過去最高件数を塗り替えた。内訳を見ると、個人投資家が270,011口座、機関投資家が206口座だった。

ハノイ市場のHNX指数は1.17%安の441.61ポイントで取引を終えた。同指数は前日2.03%安の446.83ポイントで引けていた。

出来高は前日と比べて減少した。売買高は8,600万株、売買代金は2兆8,000億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。